

令和3年 北九州港と川崎港の港湾統計の比較

海上出入貨物量

【北九州港の特徴】

- ・海上出入貨物量は 9,636 万トン
- ・2016 年と比較した場合、ほぼ同水準
- ・内航フェリーの一大拠点。7 割が国内輸送

【取扱品目】

- ・輸出：鋼材・コークス・金属製品
- ・輸入：石炭・鉄鉱石・LNG

【川崎港の特徴】

- ・海上出入貨物量は 7,194 万トン（約 75%）
- ・2016 年と比較した場合、1,000 万トン減少
- ・火力発電所・製油所・製鉄所が立地。6 割が輸入
輸入量は、北九州港の 2 倍

【取扱品目】

- ・輸出：完成自動車・化学薬品・金属くず
- ・輸入：LNG・原油・鉄鉱石

【貨物量の推移】

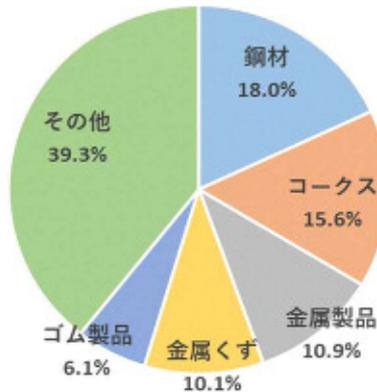


【貨物量の割合】

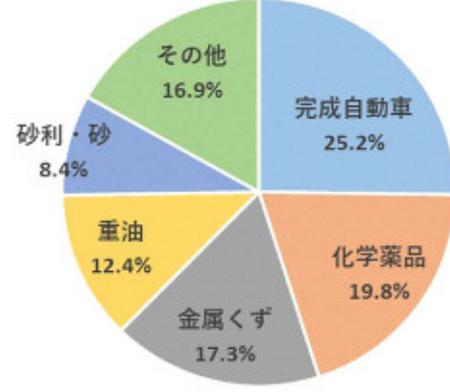


【輸出】

北九州港：845 万トン

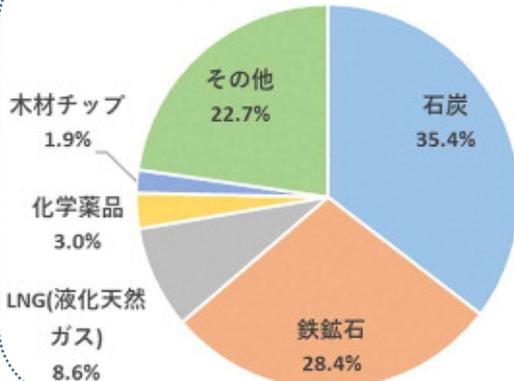


川崎港：552 万トン

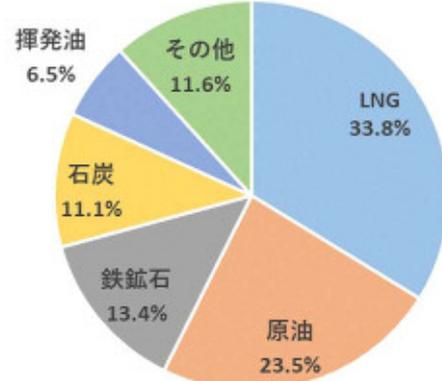


【輸入】

北九州港：2,119 万トン



川崎港：4,327 万トン



コンテナ貨物取扱量

【北九州港の特徴】

- ・ 輸出入のバランスが良い。
(輸出 53%、輸入 47%)

【取扱品目】

- ・ 輸出：化学薬品、ゴム製品（タイヤ等）、染料・塗料・合成樹脂
- ・ 輸入：化学薬品、自動車部品

【川崎港の特徴】

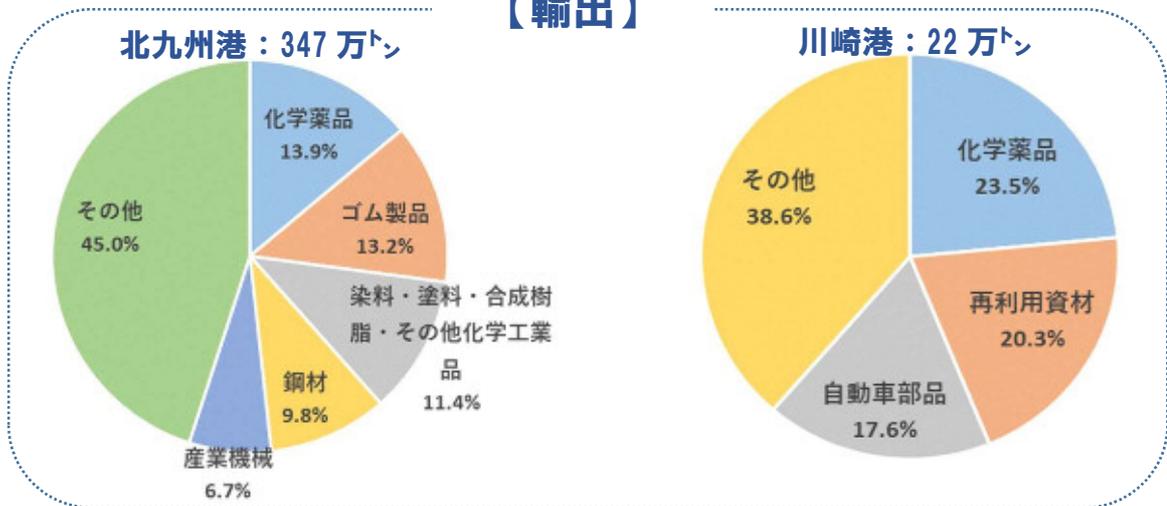
- ・ 輸入の比率が高い。
(輸出 14%、輸入 86%)

【取扱品目】

- ・ 輸出：化学薬品、再利用資材、自動車部品
- ・ 輸入：家具装備品、その他日用品



【輸出】



【輸入】

